

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	教育学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ (学部) コースワークとリサーチワークのバランス (院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供 (学部) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容 (学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供 (院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供 (専院)

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。

A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教育学部における専門教育の問題点を抽出し、完成年度以降の改善に資する。	→「教育課程を常に検討する委員会の有無と検討状況」「実習科目を常に検討する委員会の有無と検討状況」「教育課程および実習科目の運営を担当する教職員の連絡調整に関する会合の有無と検討状況」「学生へのアンケート調査」	B	B	B		
2. 導入教育として設置した基礎演習の教育成果の検証を行い、充実させる。	→「基礎演習担当者による情報交換の場の有無とその開催頻度および検討状況」「学生へのアンケート調査」	B	B	B		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	教育学部の教育課程は、総合教育科目と専門教育科目によって体系的に編成されている。このうち、専門教育に関する教科目の大部分は、免許・資格取得に係る教科目であるため、学部全体の教育課程を検討するカリキュラム委員会および、免許・資格に係る教科目・教育課程の課題を検討する幼稚園教員・保育士養成課程担当者会、小学校教員養成課程担当者会で、専門教育の中味やカリキュラム上の課題を検討し、完成年度以降の学部再編に向け準備を進めている。
☆ 目標2	導入教育として1年生の春学期と秋学期に基礎演習を開講している。春学期は高等学校を卒業した直後の学生が、大学生活における学習の基礎を学べるようまた、秋学期はそれぞれの学科における基礎的知識と学習方法を修得できるように配慮したものである。春学期の基礎演習については、その内容について、年度初めに担当者間で確認と情報交換を行うための会議を開いている。2009年度には、教科内容の検証と授業方法に関する情報交換を行うため、FDの一環としてほぼ全員の学部教員が参加する研究会を実施した。
備考	なし